

# 令和6年度 学校経営グランドデザイン

## 【学校教育150年の成果と課題】

- 明治5年に「学制」が公布されてから令和5年で151年目。我が国の教育は国際的に高い水準を達成するに至り、社会の発展に大きく寄与してきた。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵略は、平穏な日常が脅かされ、基本的な価値が揺らぐという共通経験をもたらした。平成18年に改正された教育基本法の前文にある「たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する」ことの重要性や教育の目標にある「生命を尊重する」ことの大切さを再確認する契機となった。
- 同法第1条においては、教育の目的として「人格の完成」「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」が規定されるとともに、第2条においては教育の目標が規定され、①知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した個人、②公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、③我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされている。
- これら教育基本法の理念・目的・目標の実現を目指すことは、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代に(VUCA\*時代)においても変わることのない、立ち返るべき教育の「不易」である。

参照：次期教育振興基本計画策定に向けた審議資料中央教育審議会教育振興基本計画部会

## 【教育目標】

『自律』  
『創造』  
『協働』

## 【学校経営方針】

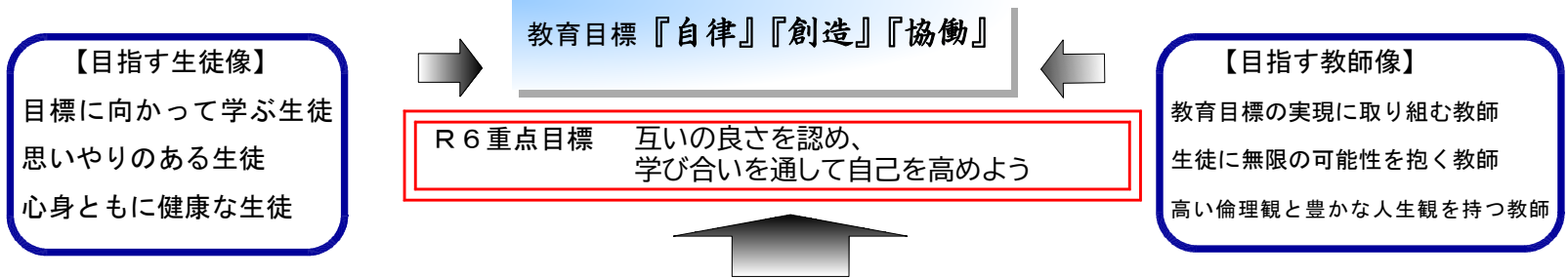
- 平和や安全、人権を尊重し、生徒の自律を促すよう、すべての教育活動に組織的に取り組む学校
- 教育学とICT等の最新技術や情報を活用し、生徒が新たな価値の創造に取り組む学校
- 教師と生徒、そして学校と保護者や地域等の人々と協働し、Well-being\*に参画する学校

VUCA\*=社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況のこと  
Well-being\*=経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいと捉える考え方。  
個人だけでなく社会との共通の目標

【自律】とは、主体的に社会や世界と関わり、よりよい人生を送る(Well-being\*)ための重要な資質と捉えます。成年年齢や選挙権年齢が18歳引き下げに伴い、生徒自身が自己決定権を尊重し、積極的な社会参画を行うことができる力が求められています。また、「自律」を目標に据えることにより、学びに向かう力や人間性等の観点のもと、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成を目指します。

【創造】とは、学んだ知識や技能を思考し、判断し、表現することを通し、新たな価値を創造するまでのプロセスを包括します。予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点から、「持続可能な社会の創り手」という学習指導要領前文に定められた目指すべき姿の実現を目指す重要な一端を担う力となります。

【協働】とは、社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残すことなく、かつ自分や他者の良さを失うことなく、集団として最大限の力を発揮できるよう協力し、目標を定めた明確な取組をすることにより成果を上げることを意味します。



## 【令和6年度教育課程基本方針に基づく実践事項】

自ら考え、主体的に学ぶ生徒の育成に努める	他を思いやり責任を果たす生徒の育成に努める	心身ともに健康な生徒の育成に努める
(1)まとめの時間の充実 (2)個別最適な学びの実践 (3)学習活動の工夫 (4)学び方や評価の工夫	(1)道徳教育の充実 (2)特別活動の充実 (3)生徒指導の充実 (4)キャリア教育の充実	(1)基本的生活習慣の育成 (2)健康教育、食育の推進 (3)運動の実践と体力の向上 (4)安全の確保と安全教育の推進

## 【R6学校運営ビジョン】

### 共通実践テーマ『「瓜」より「土」を育てます』

【R6学校が重点的に取り組むこと】

- ◆ 勉強したい生徒を育てます
- ◆ わかる喜び、楽しさを感じる「まとめ」の時間の充実に取り組みます。
- ◆ 授業や単元毎の理解度をデータ化し、学習状況の確認による学び直しを促します。
- ◆ 「もっと学びたい」を各種検定試験の挑戦へとつなげます。
- ◆ 表現したい生徒を育てます
- ◆ 教科等の学習成果発表会の場を指導計画に位置づけ、表現する達成感を味わわせます。
- ◆ 郷土や国際理解に積極的に関わり、情報を編集し発信する活動に取り組みます。
- ◆ 文化・芸術・スポーツ分野等で活躍する外部人材を積極的に活用します。
- ◆ 登校したい生徒を育てます
- ◆ 「自分が必要とされている」と感じる人間関係づくりに、家庭と連携して取り組みます。
- ◆ 二期制を有効活用し、学校が楽しいと感じる魅力ある行事等を定期的に配置します。
- ◆ 生徒会活動の充実により、生徒の自治能力を高め、人権意識の向上を図ります。

**【R6重点目標】** 互いの良さを認め、学び合いを通して自己を高めよう

**【視点1】**  
**「瓜」より「土」をつくることで見られる生徒の姿**

◇ 勉強したい生徒

- ◆ 授業のまとめではわかる喜び、楽しさを感じている。
- ◆ 授業や単元毎に自分の学習状況を確認し、自ら進んで学び直している。
- ◆ 「もっと学びたい」という意欲が高まり、各種検定試験にも積極的に取り組んでいる。

◇ 表現したい生徒

- ◆ 教科等の学習成果発表会では、日頃の学習の成果を自信をもって発表している。
- ◆ 郷土や国際理解に興味を持ち、自分の考えを学校内外に発信している。
- ◆ 文化・芸術・スポーツ分野等で活躍する方々から学ぶことで、自分の生き方に良い影響を受けている。

◇ 登校したい生徒

- ◆ 「自分は友人や家族から必要とされている」と感じている。
- ◆ 学年二期制の良さを感じ、充実した学校行事に満足するなど、学校が楽しいと感じている。
- ◆ 積極的に生徒会活動に取り組み、より良い学校生活を送ることができている。

**【視点2】**  
**「瓜」より「土」をつくる教職員・学校組織の姿**

◇ 個々にポテンシャルを発揮できる教師や組織

- ◆ 校務支援ソフトを効果的に活用するとともに適切に口頭による相談等を行い円滑に情報を処理、共有している。
- ◆ 迅速な意思決定体制が整備され、分業と権限が明確なため、抱え込むことなく組織として対応している。
- ◆ 2期制を有効活用し、新たな学校教育に即した学習評価の実施と、指導と評価の一体化に取り組んでいる。

◇ 資質、能力の向上及び気力、体力の充実する教師や組織

- ◆ 実りある校内研修を通し、生徒の個別最適な学びや協働的な学習の指導・支援を積極的に実践している。
- ◆ 研修履歴に基づく受講奨励を計画的に進めるなど、日頃から研究と修養に取り組んでいる。
- ◆ 働き方改革の推進及び計画的な年休取得の促進等が図られ、教師本来の業務に集中できている。

◇ 保護者や地域との協働を促す学校の役割

- ◆ 英語学習を軸として、魅力ある教育活動の実践と多様な学びのための環境整備が適切に行われている。
- ◆ 学校はHPや各種たよりを通じて、保護者や地域に必要な情報等を提供し、チーム学校の意識を高めている。
- ◆ 学校は新たな安全、防災教育計画の更新を一層進め、地域防災の要として役割を果たしている。

**【目指す生徒像】 《知》目標に向かって学ぶ生徒 《徳》 思いやりのある生徒 《体》 心身ともに健康な生徒**

目指す生徒像	自ら考え、主体的に学ぶ生徒の育成に努める	他を思いやり、責任を果たす生徒の育成に努める	心身ともに健康な生徒の育成に努める
<b>実践事項</b>	<p><b>(1) まとめの時間の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1単位時間等を通して本時で何がきようになったのか実感させる時間を毎回設定する</li> </ul> <p><b>(2) 個別最適な学びの実践</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の学習課題や学習方法を常に選択させる</li> <li>・ ドリルアプリ等を効果的に活用する</li> </ul> <p><b>(3) 学習活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働的な学びの場面となるよう、活動を意図的に設定する</li> <li>・ 情報発信を意識させ、内外に向けた表現活動に結びつける</li> </ul> <p><b>(4) 学び方や評価の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元テスト等をデータ化し、指導と評価の一体化を図る</li> <li>・ 各種検定試験の積極的な参加を促し、評価資料とする</li> </ul>	<p><b>(1) 道徳教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相互に認め合う人間関係をつくり、全教育活動で教師自らが生徒の道徳性を育成するために模範的な言動をする</li> <li>・ 道徳の時間の基本的な指導過程をもとに、指導方法や体制、指導の工夫など創意工夫を生かした展開をする</li> </ul> <p><b>(2) 特別活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が自ら活動の計画を立て、問題の解決に取り組むなど主体的・自治的な活動を促進する</li> </ul> <p><b>(3) 生徒指導の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教育活動で、自己決定の場や自己存在感を味わうように配慮し、積極的な生徒指導にあたる</li> </ul> <p><b>(4) キャリア教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の可能性を伸ばす視点から自らの生き方を考えさせ、適切な進路選択ができるよう系統的かつ組織的に相談や支援をする</li> </ul>	<p><b>(1) 基本的生活習慣の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身ともに健康な生活を営むために必要な知識や技能を継続的に指導し、自主的・自律的な生活習慣を育成する</li> </ul> <p><b>(2) 健康教育、食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代的な健康課題や食育に全職員で取り組み、多様な指導方法を活用して、実践力の育成に努める</li> </ul> <p><b>(3) 運動の実践と体力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教育活動で生徒が自らの体に関心を持ち、積極的に運動を実践し、体力の向上を図る</li> </ul> <p><b>(4) 安全の確保と安全教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒や状況、環境等に応じた安全管理、指導を行い、傷害や災害の防止を実現する</li> <li>・ 安全や防災に関する情報を常に更新し、計画的、継続的に安全教育を推進する</li> </ul>
<b>行動目標</b> ○生徒 ☆教師 ◇共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学習スタイルを指導します</li> <li>☆ノートの活用法を指導します</li> <li>◇毎日、読書活動を行います</li> <li>☆家庭学習状況を把握します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きちんとあいさつをします</li> <li>○正しい言葉遣いをします</li> <li>○自分のことは自分で行います</li> <li>◇相手を理解し、ほめてあげます</li> <li>☆進路情報を適時に提供します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆小中高の連携を図ります</li> <li>○早寝早起きし、朝食をとります</li> <li>○一日一回汗をかく運動をします</li> <li>◇事故・ケガ、ゼロをめざします</li> </ul>

教育目標・重点目標、努力・実践事項、評価

教育目標	『自律』『創造』『協働』
重点目標	互いの良さを認め、学び合いを通して自己を高めよう

【視点1】「瓜」より「土」をつくることで見られる生徒の姿[共通]

努力事項	実践事項(評価観点)	成果・課題及び評価[4-3-2-1]
◇ 勉強したい 生徒を育てます	◆ 授業のまとめではわかる喜び、楽しさを感じている。	
	◆ 授業や単元毎に自分の学習状況を確認し、自ら進んで学び直している。	
	◆ 「もっと学びたい」という意欲が高まり、各種検定試験にも積極的に取り組んでいる。	
◇ 表現したい 生徒を育てます	◆ 教科等の学習成果発表会では、日頃の学習の成果を自信をもって発表している。	
	◆ 郷土や国際理解に興味を持ち、自分の考えを学校内外に発信している。	
	◆ 文化・芸術・スポーツ分野等で活躍する方々から学ぶことで、自分の生き方に良い影響を受けている。	
◇ 登校したい 生徒を育てます	◆ 「自分は友人や家族から必要とされている」と感じている。	
	◆ 学年二期制の良さを感じ、充実した学校行事に満足するなど、学校が楽しいと感じている。	
	◆ 積極的に生徒会活動に取り組み、より良い学校生活を送ることができている。	

教育目標・重点目標、努力・実践事項、評価

教育目標	『自律』『創造』『協働』
重点目標	互いの良さを認め、学び合いを通して自己を高めよう

【視点2】「瓜」より「土」をつくることで見られる生徒の姿[教職員・学校評議員]

努力事項	実践事項(評価観点)	成果・課題及び評価[4-3-2-1]
◇ 個々にポテンシャルを発揮できる教師や組織	◆ 校務支援ソフトを効果的に活用するとともに適切に口頭による相談等を行い円滑に情報を処理、共有している。	
	◆ 迅速な意思決定体制が整備され、分業と権限が明確なため、抱え込むことなく組織として対応している。	
	◆ 2期制を有効活用し、新たな学校教育に即した学習評価の実施と、指導と評価の一体化に取り組んでいる。	
◇ 資質、能力の向上及び気力、体力の充実する教師や組織	◆ 実りある校内研修を通し、生徒の個別最適な学びや協働的な学習の指導・支援を積極的に実践している。	
	◆ 研修履歴に基づく受講奨励を計画的に進めるなど、日頃から研究と修養に取り組んでいる。	
	◆ 働き方改革の推進及び計画的な年休取得の促進等が図られ、教師本来の業務に集中できている。	
◇ 保護者や地域との協働を促す学校の役割	◆ 英語学習を軸として、魅力ある教育活動の実践と多様な学びのための環境整備が適切に行われている。	
	◆ 学校はHPや各種たよりを通じて、保護者や地域に必要な情報等を提供し、チーム学校の意識を高めている。	
	◆ 学校は新たな安全、防災教育計画の更新を一層進め、地域防災の要として役割を果たしている。	